

石川病薬ニュース

石川県病院薬剤師会会報

令和7年(2025)/7.31発行 No. 189

CONTENTS

- ・巻頭言
- ・第75回 石川県病院薬剤師会定例総会
- ・学術研修会
- ・エキスパートに聞く! ~輝く石川のキラ星~
- ・委員会報告
- ・他都道府県病薬会誌寄贈一覧
- ・南船北馬
- ・寄稿



〔巻頭言〕

会長就任にあたってのご挨拶 1期目の振り返りと2期目への展望
 石川県病院薬剤師会 会長 石川県済生会金沢病院 薬剤部長 森戸 敏志…… 1

〔第75回 石川県病院薬剤師会定例総会〕

総会報告 …………… 3
 令和6年度事業報告 …………… 5
 令和6年度石川県病院薬剤師会後援事業報告 …………… 14
 令和6年度決算報告・会計監査報告 …………… 15
 第7回石川県病院薬剤師会研究奨励賞 …………… 16
 令和7年度事業計画（案） …………… 17
 令和7年度予算案 …………… 18

〔学術研修会〕

令和6年度第1回（通算第174回）学術研修会 金沢医科大学病院 今川 静代…… 19

発表者報告

ナルフラフィン塩酸塩からジフェリケファリン酢酸塩への切り替えによる有効性、安全性の検討
 石川県済生会金沢病院 島崎 沙織…… 21
 携帯情報端末(PDA)を用いたピッキングサポートシステムによる調剤ミスの推移と調剤速度の比較
 金沢医科大学病院 小林 弘典…… 23
 入院時の持参薬代替提案方法の検証 ～報告システム導入による変化～
 石川県立中央病院 藤村 百衣…… 25
 ロモソズマブ自己中断症例の検討 浅ノ川総合病院 重松 薫…… 27
 医薬品供給不安の状況下における院内採用品の後発品切り替え推進とその効果
 金沢大学附属病院 立中 志門…… 29
 腎排泄型薬剤の適正使用に向けた業務の標準化への取り組み
 石川県済生会金沢病院 角 紀一郎…… 31
 二次性骨折予防に向けたテリパラチド使用状況の調査
 国家公務員共済組合連合会 北陸病院 小寺 菜月…… 33
 錠剤の粉碎方法の違いによる懸濁性への影響 金沢大学附属病院 西澤 理愛…… 35

〔エキスパートに聞く ～輝く石川のキラ星～ (30)〕

精神科薬物療法認定薬剤師 金沢医科大学病院 清水 善仁…… 37

〔委員会報告〕

中小病院委員会
 第37回中小病院薬剤師研修会報告 能美市立病院 北潤 奈巳…… 39
 精神科治療委員会
 令和6年度 第2回精神科治療委員会研修会報告～発達障害の理解を深めよう～
 石川県立こころの病院 北 侑未…… 48
 感染制御委員会
 第25回 石川県感染制御セミナー開催報告 金沢医科大学病院 高多 瞭治…… 50
 地域連携推進委員会
 第1回 石川県病院薬剤師会 地域連携フォーラムを開催して
 金沢大学附属病院 坪内 清貴…… 51
 地域連携研修会を振り返って～参加者の視点から～ 珠洲市総合病院 竹田 剣斗…… 53

〔他都道府県病薬会誌寄贈一覧 …………… 55

〔南船北馬〕 …………… 56

〔寄稿〕「古寺との結縁-66」 院瀬見 義弘…… 57

〔編集後記〕

〔病薬ニュース発行欄〕

巻頭言

会長就任にあたってのご挨拶 1期目の振り返りと2期目への展望

石川県病院薬剤師会 会長
石川県済生会金沢病院 薬剤部長 森戸敏志

石川県病院薬剤師会（以下、県病薬）会員の皆様、石川県済生会金沢病院の森戸です。令和7年4月27日の第75回定例総会にて、2期目の会長就任をご承認いただきました。本誌面をお借りして、前期の活動を振り返りつつ、今期の展望を述べさせていただきます。

1期目の任期中には、これまでの県病薬の事業を引き継ぐと共に、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、事業を展開して参りました。その中でも、日本病院薬剤師会（以下、日病薬）第33回北陸ブロック学術大会が4年ぶりに対面で開催できた事を個人的には嬉しく感じております。令和元年の石川県での開催以降、新型コロナウイルス感染症流行の影響で、中止やオンライン開催となっておりましたが、第33回大会では日本薬学会北陸支部例会との共同開催も実現でき、病院薬剤師、大学研究者、薬学生との交流を深める貴重な機会になったものと考えております。しかし、この大会から1ヶ月後に、令和6年能登半島地震が発生しました。県病薬事務局では、発災直後から日病薬と必要な支援体制の構築に向けて協議を重ねて参りました。県内外の病院薬剤師の協力のもと、お陰様を持ちまして、人的支援は令和6年3月下旬まで継続することができました。支援にご理解とご協力をいただいた各施設の先生方には、厚く御礼を申し上げます。これらの経験は、災害対応における病院薬剤師の役割を再認識する機会となり、会長として県病薬内に災害対策を検討する委員会の必要性を痛感し、災害対策特別委員会を組織することにいたしました。昨年度から活動を始めた特別委員会では、災害薬事に関する教育および情報提供に取り組み、富山、福井の薬剤師会との共催にて人材育成事業を開催できました。ご協力いただいた関係者の皆様には、あらためて御礼を申し上げたいと存じます。

そして昨年度からは、会員の利便性の向上と県病薬事務局業務の効率化を目指した取り組みも開始しました。日病薬クラウド型会員管理システムであるシクミネットへの参加と、日病薬病院薬学認定薬剤師研修支援システムであるHOPESSへの参加です。シクミネットでは、会員情報の管理がより容易となり、会員個々への研修会情報などの周知も可能となりました。また、HOPESSでは、研修申請から認定までの作業効率化と会員個人による研修状況の確認が随時可能となり利便性が向上したと考えております。これらのシステムへの参加は、現在活用している病薬共有のオンラインストレージと併せて、事務局業務の軽減につながったと考えております。

さて、会長2期目となる令和7年度からの2年間においては、県病薬の役員に新たな理事を迎えて、前期の取り組みを更に充実した内容とすべく取り組んで参ります。これまで通りzoom等のオンライン会議システムを活用して、多くの参加者を募る形を大切にしていきます。県病薬の会員全体が、より一体感を持って盛り上げられるように尽力いたします。

2024年からの6年間、第8次医療計画が進行中です。今回の医療計画では、薬剤師の資質向上に加えて人材確保（病院薬剤師の不足、地域偏在の解消）が喫緊の課題として盛り込まれました。県病薬では、石川県健康福祉部薬事衛生課と共同で、日本薬学会年会のリクルートコーナーへ出展を行い、石川県との共同事業である「共育プログラム」の周知や、中高生向けのフリーペーパーの作成および配布をおこなってきました。これらに関しては内容を見直しながら、石川県と共同で継続していく予定です。

そして被災県としての今後の災害対策においては、今回の経験を糧に支援と受援の仕組みを整備すると共に、隣県の病院薬剤師会および県薬剤師会そして石川県庁とも連携して、人材育成に引き続き注力して参ります。また、今年度から県病薬会員向けに、災害対策に関する様々な取り組みを計画しています。是非、ご協力ください。

石川県病院薬剤師会の会長として、病院薬剤師の認知度の向上と、さらなる資質向上、人材確保を目指して活動してまいります。引きつづき会員の皆様のご理解とご支援を心より願ひ申し上げます。

